

# はたはた

八峰町教育長 千葉良一書

## Vol. 3

八峰町関東ふるさと会 会報

2012年10月発行



八峰白神ジオパーク(獅子岩)

「ふるさと会」  
4年目を迎えるに当たって

八峰町関東ふるさと会会長

神馬 信一



初めに、会員ならびに八峰町の皆さま方の当ふるさと会に対する深いご理解とご支援を頂き厚くお礼申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災による津波・原発事故と未曾有の災害に対する復興・復旧がなかなか進まない中、今年是世界各地で異常気象のニュースが次から次へと伝えられています。

日本各地でも異常気象に起因する被害が多くありました。中でも西日本を襲った豪雨は今まで経験したことのないような大雨で甚大な被害や、関東地方を襲った竜巻等が心に残っています。

八峰町でも、4月上旬に日本海を通過した爆弾低気圧によって、港湾施設等が大きな被害があったと聞かされました。被害に合われた方々にお見舞いを申し上げますと共に、復旧作業に携った町の担当者のご心労も大変だったと思います。

このように、最近の異常気象は極端すぎて、自然に起因するものとはいえ防ぎようがありません。天災は忘れたころにやってくるのでなく、毎日の生活に危機感をもって生活していくことが大事なのだと思うこの頃です。

さて、八峰町は平成の大合併最後の平成18年3月27日にスタートし、6年目になります。又、当ふるさと会は、平成21年11月22日の誕生記念大会から4年目を迎えようとしています。この3年間ふ

るさと会として目立った活動が少なかったことを反省しています。世の中は震災発生以来、絆を大切にすることを考えるようになりました。これを機会に町が企画する行事や、物産販売等に積極的に参画するように会員の皆さんに声掛けに努めたいと考えています。

また、当会の活動の一環として町と会員、また会員同士の情報交換のかけ橋になつてくれることを願って会報を企画して参りました。今回第3号を発行することになりました。

この会報は4800部を印刷して八峰町全世帯、当ふるさと会全会員、北海道八峰町ふるさと会の総会に出席された方々及び関西地区八峰町ふるさと会に出席された方々に配布していますので、多くの方々からの情報や近況報告、広告の掲載をお願いします。

今回、第3号発行に当り寄稿及び広告の掲載にご協力を頂いた方々、また多忙にもかかわらず、ご尽力頂いた担当役員の方々に深く感謝の意を表します。

最後になりましたが、会員並びに八峰町の皆さんのご健康、ご多幸と、八峰町の益々の発展を心からご祈念申し上げます。



## ふるさとへのご支援に感謝

八峰町長

加藤 和夫



## 郷土の春

八峰町議会議長

須藤 正人



関東ふるさと会員の皆様、ご健勝で活躍のことと思います。

5月22日、634mの「東京スカイツリー」がオープンしました。

上京の折、遠くから上部だけ眺めることが出来ましたが、高校生の時に初めて登った333mの「東京タワー」の感激も忘れることが出来ません。

両タワーの年代差54年、高さ300mの差は、そのまま日本が経済発展を遂げてきた証であると同時に、ふるさとを離れ、首都圏で幾多の困難を乗り越え、勤勉に働き、成長を支えてこられた会員皆様の努力と貢献があったからだと思うのであります。

それだけに、地方紙「秋田魁新報」の首都圏で話題の県内人を掲載する欄に、ふるさと会員の話題が掲載されると、本当に嬉しくなります。

昨年、東京スカイツリーの百分の一の「きりたんぼ」をメニューにした東向島の秋田料理店「酒呑童子」の坪井(旧姓山口)アキ子さんの記事や「ぼくの地球を守って」等数多くの人気アニメの作画監督を務めたベテランアニメーターとして活躍している後藤隆幸さんをはじめ、これまで多くのふるさと会員が紹介されてまいりましたが、その都度良い刺激を与えてくれたものと思っています。

又、会員の皆様からは、これまでも様々な形でふるさとへの発展に力を貸して頂

てまいりましたが、最近では、町が新規に取り組むことになった生薬栽培事業に対し、「東京生薬協会」と協力協定締結に漕ぎ着け、事業着手出来ることになった陰には、会員で龍角散顧問の加賀亮司さんのご尽力があったからであります。

もう一つの新規事業として、旧八森小学校を活用した「アワビ陸上養殖」の会社を誘致しましたが、これとて、社長が県人であるさと秋田を思う心があったから実現出来たものと思います。

会員からお世話頂いたすべてを紹介することは出来ませんが、首都圏の物産販売にお手伝いに来てくれる方や随時、町の振興に繋がる情報提供やアドバイスしてくれる方々等々、大変心強く感じているところであります。

又、「ふるさと納税」が始まって5年目になりますが、8月1日現在、累計約360万円となりました。

ご協力頂いた皆様に心より感謝申し上げますと共に、町づくりに有効に活かして参りたいと考えております。

町の発展は、我々町民の力で切り開いていくことは勿論であります。愛郷心溢れる関東ふるさと会員の皆様のご支援が何より大きな力となりますので、これからもよろしくお願い致します。

結びに、関東ふるさと会の輪が益々、拡がること、そして会員皆様のご活躍とご健康、ご多幸を祈念申し上げます。

八峰町関東ふるさと会の皆さん、お元氣で過ごしのことと思います。

西日本では異常気象により、人命にかかわる甚大な台風被害や、豪雨災害が続いております。八峰町では4月3日の爆弾低気圧による被害はあったものの、その後は穏やかな日々が過ぎております。しかし、「天災は忘れたころにやってくる」危機管理を忘れてはならないと思います。

さて今回は、ふるさと会の皆さんに、郷土の3つの春を紹介します。

今年3月18日、ハタハタ館向いの里山に登りました。残雪で足元の悪いなか少しづつ登山コース最終地点近くまで進むと、金色と真紅のまんさくの花(万作科の落葉小高木)が満開に咲き誇っています。まわりの木々にはまだ新芽もなく、小枝を晒し、閑散としたセピア色の中にあって、まんさくだけが花ひらいているのです。不思議で何か得をしたような感じを受けました。「今年も春から縁起がいいぞ」。そんな気分になりました。4月29日、ゴールデンウィークのスタートにふさわしく、山村広場は桜が満開となりました。早速、桜の下にゴザを敷き野宴のはじまりです。春のこちよいい風が盃を口もとに押し上げます。気がつくくと、あちらこちらに車座ができています。弁当を頬ばる人、子供と遊ぶ人、満面の笑顔です。今年も麓までいせいに花ひら



き最高の桜となりました。5月13日、能代でトマトとナスの苗木を買ったあと手這坂に寄ってみました。古民家が立ち並びその前後に桃の花が形をかえ、色とりどりに咲いています。まさに桃源郷、俗世間とはなれた世界がひろがっています。多くの観光客が田舎の風景に癒しを求めて来ております。今度帰郷の際には是非とも立寄っていただきたいと思っております。

11月18日の関東ふるさと会で皆さんとお会いできるのを楽しみ、関東ふるさと会の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。挨拶と致します。



## ふる里を想う

監査 菊地 弘美(八森泊出身)

相模原在住)



時の流れは早く、故郷を離れ早、五十年が過ぎ去ろうとしている現在、自分の育った故郷にはすっかりとした季節がある。秋には秋の色、冬には冬の厳しさ、春には野山に香る美しい木々の緑、夏には波穏やかな海、季節折々の色や風の匂い、そして人情の厚さ。どれもこれもが思い出深く、忘れがたいものです。

子どもの頃に通った通学路では、前進することもままならぬ程の季節風の中、地雪を全身に受け姿勢を低くして、凍りついた路面を手を温めながら登校したものです。このような自然の厳しさや猛威に耐え抜いた子どもの頃に身に付けた忍耐、不屈の精神と勇気が現在の私の基になっっていると確信しています。

さて私は、八森中学校の卒業生として能代工業高校バスケットボール部に入部し、全国優勝58回の偉業を成し遂げました。名門、能代工業バスケットボールの町として、能代という名を全国に轟かせたこと、そして八森中学校の卒業生ということを私は忘れることが出来ません。特に、功績を残されご活躍された下樫の山本三兄弟の兄、健三さんは東北大会初

優勝の際、主将として尽力され現在、能代山本バスケットボール協会会長となっております。次男、富美男さんは埼玉国体において、その後、能代工業が全国58勝を成し遂げる、記念すべき初優勝に導いた主将として活躍されました。今は亡き三男、浩二さんは高校二冠という栄誉に輝いた主将として、また全日本代表としてオリンピックに出場された超エリートです。また彼は、母校八森中学校で講演をされたこともあります。

以前、八森中学校卒業生の多くが能代工高バスケットボール部に入部していましたが、岩館の須藤さん、大森の岡田さん、椿台の那珂さん、浜田の吉田さん、八森の金田君など多くの生徒が八森中学校を卒業した後、バスケットボール部に入部し、活躍されました。しかし、近頃では少子化の影響か、八森中学校を卒業した生徒の名前を目にする機会が少なくなり、大変寂しくまた残念に思っています。

2008年4月以降、能代工業バスケットボール部は必勝不敗から遠ざかっておりますが、強豪復活を必ず勝ち取って欲しい。私は部員諸君の底力を楽しみに、

陰ながら応援しております)

現在私の住む相模原市は、2011年に政令指定都市となりました。西には霊峰、大山連峰を望み、市内を流れる相模川では4月に芝桜まつり、5月には相模の大風まつりが開催されます。特筆すべきは、豊百畳敷きを超える大きさと言われる大風です。この風を揚げるために、総勢30名以上の人が綱を引き、制作準備に至っては100名を超える人々が関わるという歴史ある祭です。その他、春、秋の神社奉納演芸や、8月の恒例となつている米軍キャンプ座間での日米親善盆踊り大会などにも積極的に参加しています。

故郷を離れた今、地域自治連合会長としてこの地に溶け込み、多くの人たちの信頼を受け、気の合う仲間と楽しく活動している毎日です。こんな活動の中、微力ではありますが仲間とともに、相模原市副市長を通して友好関係のある岩手県大船渡市に東日本大震災の義捐金を送らせていただきました。

たとえ遠く故郷を離れても、私の心は今でもあの懐かしい風景の中にいます。ふる里を想い、こうして元気である間は、毎年八森に出向きたいと思っています。

「バスケットボールとの出会い」

菊地弘美さんは、中学の頃から八森中学校を卒業した先輩達が、能代工業高校のバスケットボール部で活躍されていることに憧れていて、卒業したら必ずバスケットボールで頑張ることを心に決めていたそうです。

戦後、能代工業バスケットボール部のチーム成績は、必勝不敗の精神で昭和22年度から昭和27年度の間は、常に上位進出しながら優勝には届かなかったようですが、昭和28年度に全国高校選手権初優勝・インターハイ(3回戦)進出・東北高校選手権準優勝と、能代工業バスケットボール部が、全国的に注目をあびるようになっていました。

そんな中、菊地さんは昭和31年度に念願叶って入学することができました。しかもその年に県体初優勝を経験しています。又、3年生でも県体優勝し、2年も輝かしい実績を残しています。後輩達は、能工魂と、先輩の方々の活躍を引き継ぎ、又、良き指導者に恵まれて、昭和37年度からは数多くの大会で優勝を重ね全国制覇58回の偉業を成し遂げました。この輝かしい功績を称えて、正門側にモニュメントが建てられています(本文中の写真に使用させてもらいました)。

菊地さんは、名門能代工業バスケットボール部で活躍できたことの誇りと、青春を費やしたことに胸を張って、現在各方面で活躍されていることを羨ましく思います。(編集部より追記)



# 「ふるさと」は一番

堀内 弘（八峰町在住）



春の遅い北国も四月の声を聞くとやつと春が来たんかと、心も何となくうきうきしてきます、でもストーブは五月いっぱいまで外せません。

南の地方からは決まったように桜の開花が報道されますが、わが八峰町は例年四月二十日前後が桜の季節となり、一時賑わいを見せるのです。

白神山地の一角を占めるわが町は都会の人々の憧れの的となっているようです（？）。五能線はリゾート列車が運行されていますが、何しろ首都からちよつと遠いのが、難点となっています。

見渡せば自然がいっぱいで、山、川、海があり人間と猿と熊、カモシカ等野生動物と共生(?)しているような現況です。人生をのんびりと過ごすには、一番住みよい町ではないかと思っています。

八峰町は私の生まれ故郷であるだけでなく、八峰町関東ふるさと会の皆様の「故郷」でもあります。遠く離れていると訪ねてみようと思っても、何かきっかけがないと出かけられないことも知れませんが。

私たちは今年数えて七十七才の喜寿を迎えることになり、この機会に同期会を開催することになりました。老人週間には少し早いのですが、去る六月二日に「八森中五期生喜寿の集い」として開催しました。八中卒業時には百五十数名という大人数でしたが、すでに天国に旅立って



いる同期生も四十数名おり、一口に七十才といっても時の流れを感じています。町内の方々を中心に四十名も集まってくればと思っていました。当日は三十九名の同期生が集いました。まず良かったと思っています。

通知を届けたところ、早速ぜひ参加したいと連絡があったものの、後日家族から一人では行かせられないと反対があったり、膝が、腰が、目下闘病中、入院している、出席欠席の悲喜交々が、当日までありました。

私共も同期で集まるのは今回が最後だろうと思っていたのですが、参加者皆元気で、また集まろうとなるのは自然の成り行きかと思えました。集まってみると

やはり同期生の集いは一番楽しい集いではないかと思っています。

会員の皆さんは八峰町がふるさとです。

「住めば都」といいますが、いくら住んでいるところが都であっても「ふるさと八峰町」は頭から離れることはないと思います。

何しろ皆さんの体には「ふるさと」の「DNA」が一〇〇%詰まっているのです。機会をとらえて生まれ故郷を訪れてみ

## ふるさとの四季（食を通して）

田村 健一郎（大久保岱出身 埼玉県所沢市在住）



仕事の帰りに、デパートの地下食品売り場を覗いて見たら、「ごごみ」が陳列されていたので何気に手にとって見たら、産地「秋田」の表示があった。そうか「ごごみ」の採れる時期かと思

春

学校の運動会が開かれる時期になると「たけのこ」が採れる時期になる。「たけのこ」については、いろいろな思い出がある。昨年初冬になくなった父が、田植え時期の忙しい中、朝早くに山に行き、たけのこを採ってくる、たけのこの皮むきが始まる。皮むきでは穂先の細いところを折らずに剥きあげるために子供ながらに慎重に剥いた記憶が残っている。また、剥いた皮を指先にはめると見たこともないのに「鬼の爪」じゃーとさわざまわったことなど。

てください。

白神山地の大自然が歓迎してくれます。

親兄弟、姉妹、友人知人、同期生達が笑顔で迎えてくれます。

そして永年培ってきた皆さんの英知や技能、技術でふるさとの発展に力を貸してくださいれば幸いです。

おいしい空気、おいしい水、そしてふるさとの懐かしい匂いが皆さんの訪れを待っています。

一晩置いて味噌味のしみた「たけのこ」のおいしかったことを今でも鮮明に覚えており、ふるさと会の物産展では衝動的に「たけのこ」の缶詰を購入し、正月に「身欠きにしん」との炊きあわせを作るのが定番となった。

子供の頃、「わらび」を採りに、今はなくなつた「草刈場」に行った。藪からに生えている「わらび」は太いので藪からをかき分けて、穂先のほうから徐々に力を加えて、折れるところを探してとつた。折るところを間違えるとわらびの繊維で手を切ったこともある。いっぱい取るとわらびの毛や灰汁で手が真っ黒になった。

お袋に湯がいて貰い、味噌汁の具やゆがいたわらびを少したいておひたしにすると「ねばり」が出て何とも言えない食感があった。水煮のわらびは売っているがそのよう



な食感にはめぐり会えない。

## 夏

ふるさとを離れて、四十年を過ぎたが、帰省したときの裏の畑で少し時期の過ぎた太目の「きゅうり」をいできて冷やし、厚くなった皮をまだらに剥いて、種をとり、斜めに切って、自家製の味噌をつけて、お酒をいただくとき、帰省を実感する。

川遊びのおやつに「塩」を新聞紙に包んで、途中の畑できゅうりをもいで川水に浸し、唇がぶすくれくなるほど水遊びをした後、大きな石の上で、甲羅干しをしながら食べた「味」は何とも言えない。裏の畑でナスをもいできて、ブロックで買ってある塩鯨を適量切り出し、少ししよっぱめの味噌味にまだらにナスの皮を剥いて切り、たっぷり入れた「塩くじら入りのナスのみそかやき（味噌貝焼き）」を夏になると作っていた。いるが、どうしたわけか、帰省していただくのとなく違うのである。やはり、ナスかやきをいただく場所や空気や気分の違いだろうか？



秋  
学校から歩いて、今は峰水湖の「冷泉」の看板のあるところより少し上流の河原（その河原は今は峰水

湖の水面下）での「なべっこ遠足」のときのいただいたなべっこ味の秋の味の代表である。

先生に頼んで、沢目駅前の肉屋さんから少しの肉を買ってもらって、後は班の皆が材料を持ち寄り、役割としては、薪集め、石でのかまど作り、材料洗いやきのこ（さまだし）とり等など、なかなか火起こしが上手いかな班や早々と火が起きている班など、かまどの周りを走り回ってせっかく持ってきたしよゆのビンを倒したり……にぎやか!!

出来上がったなべっこにおにぎりを秋空のなかでいただいたことは今でも鮮明に覚えている。この時期になると、あけびやさなづら葡萄、山栗など「けど」の脇に満ち満ちていた。

## 冬

暖飯器で、弁当を温める時期になると、はたはたが捕れる時期になる。湯沸したたらいの上に暖飯器を載せて、その中に弁当を入れる。2〜30分経つと漬物ややきハタハタやその日、弁当に詰めてきた、皆のおかずの蒸しあがった匂いが教室中に充満し、先生の話を聴くどころではない状況となる。

霰が降り出す頃になるとハタハタの季節となり、ハタハタを木箱で買って、毎かだき、はたはたが出てくるが、不思議と飽きると言う事がなかったような気がする。焼いたはたはたにしようゆをたらしたり、塩漬けにしたはたはた焼き、濃い目の味噌汁にぶりっ子ハタハタを入れ、少しのねぎを入れた煮揚げなど……正月に出てくる「きりハタハタの鮎」、

年明けてからの「ハタハタ」の一匹鮎、はたはた鮎を味噌かやきとして仕立て、酸味の味噌かやきは酒のあてに最高!!

物流が進歩して、ねばりのあるぶりっ

## 大学でのお仕事

渡邊 秀介(石川出身 東大大学院)

東京してからいつの間やら五年が過ぎた。研究が楽しくて大学院に残った私であるが、今年も英語の書籍と論文と雑誌に埋もれながらアイルランド音楽史の修士論文執筆に頭を抱える日々を送っている。頂の見えない象牙の塔は一息で上るには高すぎて、踊り場で休んで息を整えては力を入れ直すという繰り返し生活である。

とはいえそんな先の見えない道程でも、途中の窓から望める景色には何もにも代えがたいものがある。先日、我が指導教員の主導により、アイルランドの誇る大詩人W・B・イエイツをテーマにした展覧会が大学博物館において催された。私の専門地域に関する一大イベントであり、私も一学生ではあるが東京大学イエイツ研究会のメンバーとして運営補助に尽力した。期間中の雑務のみならず、詩の解説を分担執筆したり、展示パネルをデザインしたり、持てる知識と技術を注ぎこんだわけである。論文執筆の傍らきつかった。とはいえ、自分の仕事形になるというのとはなんとも嬉しいものである。

子ハタハタや採れたての山菜などこちらでも手に入るようになったが、なんといっても、八峰町でいただくのには、叶わない。

東大大学院



イエイツの小戯曲『骨の見る夢』に添えられた曲の復元と再演という仕事に聞わらせてもらったのは、音楽史家の卵である私には本当に楽しくそして実り多いものだった。当のアイルランドでも埋もれてしまっていた楽譜から、百年前の詩人が頭に思い描いていたであろう実際の音へと変換する作業。それは、世界から忘れ去られたメロディーを先輩のハーブと私のフルートを通して現代の日本に蘇らせたのだった。そしてもう二度とは少なくとも日本で演じられることはあるまい。詩・音楽・人とのそんな一期一会が感慨深い体験であったのは当然のことだ。

五年前には、このような仕事に携わろうとは全く想像すらしていなかったが、そんな流転の日々の中でもいろいろなものを得ながら成長できている実感がある。人生とは案外不思議なものであるよ。学生生活も残り短し、先はやっぱり見えなけれど、それでも楽しく歩んでいきたいものだ。  
(渡邊秀介さんは、旧峰浜村石川の出身で五年前、現役で東大に合格し、現在東大の大学院に在学中です) 編集部



# 親睦・旧交を深め大盛況だった 第3回 八峰町関東ふるさと会

2011年11月20日(日) 東京・千代田区 アルカディア市ヶ谷



加藤和夫八峰町町長のあいさつ

会長・町長  
あいさつ



神馬信一ふるさと会会長のあいさつ

昨年11月20日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷で第3回八峰町関東ふるさと会が盛大に開催されました。八峰町からは加藤和夫町長、須藤正人議長。また北海道八峰町ふるさと会、近隣ふるさと会からも出席、大いに親睦・旧交を深めました。



来賓のあいさつが終わり、やや控え目に乾杯！



東日本大震災の犠牲者に黙祷！



陰の主役はなんといっても「だまこもち」。ホテルスタッフの方、ごくろうさまです

ふるさと会の主役  
だまこもち



この同期生は毎年よく参加されます。やはり、だまこもちの味に惹かれ？てかな





三味線と民謡を聞きながら、お互いの近況を語り合う



ナンバーくじの景品も盛りだくさん。なぜか変な人が登場！



石川地区出身の絆で～す！



「やっぱりふるさと会はいいね。毎年参加したいね」



見事！ 会長賞。神馬会長より目録



最後は「ふるさと」を熱唱！この歌が「来年もまた会おう！」の合言葉です



それにしてもここのテーブル、もう大変盛り上がってます！



どんどん混んできました(受付風景)

雄島花火の来年の予算集めに大PR

ハタハタ、きりたんぽなど人気の商品は速くなくなります(ふるさと物産コーナー)



# 八峰町関東ふるさと会の活動

## 高峰山へのブナの植樹

福田 稔(峰浜石川出身 埼玉県吉見町在住)

子どもの頃見ていた高峰山は、頂上近くに眼玉のような二つの禿げがあり、自分たちをいつも見おろしているようでした。その山を仰ぎ見ながら学校に通っていたのだから、ふるさとを想う時、その景色には必ず高峰山がありました。校歌にも歌われ、春の遠足はいつも高峰山でした。一年生は下の方で引き返し、中学年も頂上までは行かず引き返したので、高学年になるまでは、頂上まで登れる学年を羨ましく思ったものでした。

そんな高峰山にブナを植樹するというお便りを、昨年(二月)前副町長(「海と川と空の塾」代表)佐々木正憲さんからいただきました。首都圏に住む旧埼川村出身の有志が同窓会の相談の中で、参加者を募って行こうというところまで進んだ頃、三月十一日の大震災が起こり、余りにも大きな被害が報じられる中で、ふるさと行きは中止となってしまうました。

後日、佐々木正憲さんから、「この大震災の後なので色々と心配、迷いましたが、失われた緑や自然の再生、復活に想いを馳せ実施することになりました。」というお便りをいただき、再び心が動かされました。八峰町ふるさと会の役員会で、

同じ副会長の伊東チャヤさんとふるさと会の代表として、参加することになりました。六月五日、参加者は、八峰町だけでなく、秋田県内外から一八〇名となり、五〇〇本の苗木が植えられました。高峰山への出発前、佐々木正憲さんの「森づくりは一五〇年、二〇〇年先を見据えた息の長い取り組み、今回植える五〇〇本はわずかな数かもしれないが、やがておいしい空気ときれいな水を育む森になると信じている。」というあいさつが印象的でした。

そして今年(六月十日)に、参加人数はほぼ昨年と同じくらいになり、高峰山と深い関わりのある首都圏に住む埼川村出身の方々も、ふるさと会からは監査の鈴木輝志郎さんも参加されました。「海と川と空の塾」の植樹は、一九九六年から毎年続けられ、今年で一七回目となり、水沢山と高峰山に植えられたブナの苗木は累計一万一千本になったという事です。



伊東チャヤ副会長(左)と本人

## 首都圏秋田県人会連合会

### 盆踊りが縁で親睦の輪が

麻木 固磨(八森中浜出身 足立区竹ノ塚在住)

十二、三年前、主人から「西馬音内」の盆踊りに誘われた。秋田県南の湯沢市から更にバスで30分、羽後町の西馬音内地区の踊りで、富山の風の盆、岐阜の郡上八幡の盆踊りと共に、日本の三大盆踊りと云われているという。県北の八森出身の私は全然知らなかった。

8月16日〜18日の3日間、カラフルな端縫いの着物に編笠と藍染めの浴衣に黒の彦三頭布の踊り子が、秋田音頭を思わす、お囃子にのってかがり火を囲んで踊るのだが、私はひとめで、その幻想的な雰囲気(心)をうばわれてしまいました。是非、私も踊ってみたいと思ったのですが、仲々難しい踊りで相当練習しないと無理。十文字に嫁いだ高校の友人の紹介で、首都圏秋田県人会連合会の文化部の有志が稽古しているというので参加させてもらったのです。そこで各地区の人達と親睦が生まれ、同じ秋田出身でいながら、その風土、産業、歴史、伝統の文化によって、こんなにも物の考え方や見方が違うんだと、新しい発見があり有意義な体験ができました。秋田を愛するにはもっともっと秋田を広く、深く知る事が大切だと思いました。そしてこれこそ連合会の意義だと実感させられました。秋

田県人会連合会は秋田の市町村ふるさと会は現在31の加盟団体から成りたつていますが秋田各地の情報、近況を語り知る事ができます。そして参加している人達との横のつながり、親睦が深まり和ができるのです。連合会の中に広報、文化部などあり、私も文化部に所属し、例年の行事は年末に映画会、講演会、音楽会など計画、実行し、郷土秋田への更なる理解を深め、PRにもなっているのではと自己満足しています。

八峰町ふるさと会は基より県人会連合会も役員改正の時期になると、なり手が居なくて四苦八苦いたします。愛郷心で結束し助け合い会の盛会保持の為、皆様の御協力、御参加を心よりお願いいたします。





ご存知ですか?

# ふるさとと納税制度

ふるさと納税制度とは出身地などの地方公共団体を応援する制度です。  
 一般的にふるさと納税と呼ばれていますが、直接ふるさとに納税するのではなく、ふるさとなどの地方公共団体に寄付をした場合に、その一部が個人住民税・所得税から控除される(税金が安くなる)制度で、結果として、その控除された部分をふるさとに納税したのと同じ効果が生じるというものです。  
 地方公共団体へ5,000円を超える寄付をした場合に、5,000円を超える額を、住民税や所得税から控除(差し引く)されます。

※税金の控除を受けるためには、最寄の税務署または住所地の市区町村への申告が必要です。また、控除には住民税に応じて上限があります。



1月号(地域の安全胸に 八峰町の消防団出初式)

広報  
はっぼう  
で見る

## 八峰町の出来事



2月号(あでやかな着物姿で厄払い 白瀑神社)



3月号(ハッケヨイ!!ちびっ子相撲 ちびっ子冬まつり)



4月号(ドキドキ!わくわく!1年生 八森小学校入学式)



5月号(大人気!!バッテリーカー ボンボコ山公園リニューアルオープン)



6月号(めざせ!!1等賞 塙川小学校運動会)



7月号(祝!!峰浜中学校野球部5年ぶり6回目の優勝 第66回山本郡中学校夏期総体)



8月号(みこしを担いだ男衆が滝つぼで乱舞 白瀑神社大祭)



9月号(晴れて大人の仲間入り 八峰町成人式)

広報「はっぼう」のお申し込みは

八峰町役場企画財政課まで TEL. 0185-76-4603 FAX. 0185-76-2113 年間購読 2000円(毎月1回発行)



# 石川駒踊り in 八丈島



今年2月19日(日)、石川郷土芸能保存会(北川宏悦会長)が東京都八丈町の「第7回八丈島芸能交流会」で、400年以上の伝統を誇る「石川駒踊り」を披露しました。勇壮でエネルギッシュな舞いに会場は拍手喝采が止まず、想定外のアンコールの舞いまで飛び出し、盛り上がりました。(島外ゲストとして、福島県浪江町相馬流れ山踊り保存会も参加しました)



八丈太鼓などの島の郷土芸能の後、メインイベントとして登場！ 所狭しと飛び跳ねる駒踊りに、会場内ではヤンヤの喝采。踊りを終えると、若駒？たちもさすがに「ゼーゼー」「ハーハー」。ごくろうさまでした



八丈島のシンボルの八丈富士(854m)をバックに記念写真

レポート役の小生(北川雅夫)もふるさと自慢を満喫した1日でした(会場/都立八丈高校)





趣味通信

油絵

鈴木久春さん



岩子出身。茨城県ひたちなか市在住。趣味の油絵はプロ級。日本全国はじめ、さらに海外まで足をのびし、多くの作品を残しています。S N B A 展入選やルーブル美術館に展示作品も多数あります。



〈ノートルダム寺院とセーヌ川〉(ルーブル美術館に展示)



〈神秘〉カナダで



〈冬のこうもり淵〉岩子と目名湯部落の水沢川



〈郷愁・手這坂〉(ルーブル美術館に展示)



〈夏の奥入瀬川〉



〈風格〉岩手県・中尊寺

能代市東町 **建学会** 好評開催中!



イメージ新...

オール電化だからこそ  
「木炭&ひば&珪藻土パワー」  
健康住宅+もみがらエコボード 帰郷の際にはぜひご来場下さい。



高田住宅の匠の技をぜひ一度  
ご覧ください。必ず参考になります。

宅地建物取引業 / 秋田県知事(9)第1047号  
本 社 / 能代市昭南町7-1 TEL.54-6518 FAX.55-0750  
不動産部 / 能代市昭南町7-1 TEL.74-5044 FAX.74-5043  
峰浜本店 / 山本郡八幡町峰浜高野々字高野々43-1 TEL.76-3493 FAX.76-2186  
秋田支店 / 秋田市八橋大沼町15-10 TEL.018-896-7773 FAX.018-896-7774



ホームページ / <http://www.takajuu.co.jp>

木炭&ひば&珪藻土パワー!  
信頼は時の流れを超えた絆です  
**高田住宅工業株式会社**  
ISO9001:2008取得 顧客の要求を真摯に受け止め、品質を堅持し、社会に貢献する



四季の語り、  
くつろぎのひととき。



ARCADIA ICHIGAYA  
SHIGAKU KAIKAN

<http://www.arcadia-jp.org>

BANQUET ACCOMMODATION RESTAURANT  
宴会・会議 宿泊 レストラン

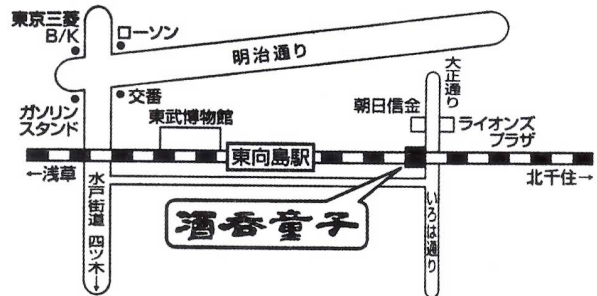
アルカディア市ヶ谷  
私学会館

JR線・地下鉄(有楽町線・新宿線・南北線) 市ヶ谷駅 徒歩2分  
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25  
TEL 03-3261-9921 FAX 03-3261-7760

秋田料理

各種御宴会の  
御予約承ります。

酒香童子  
ひ てん どり じ



〒131-0032 東京都墨田区東向島4-43-10  
TEL.03-3619-1676

サカイ食堂

東京都墨田区東向島2-15-3  
TEL.03-3616-8929  
<交通>東武伊勢崎線「曳舟駅」より徒歩1分

サカイ酒場

東京都千代田区東神田1-14-14  
TEL.03-3864-5229  
<交通>JR総武線「馬喰町駅」④出口より徒歩1分  
都営新宿線「馬喰横山駅」A1出口より徒歩2分

サカイ鳥之助

東京都墨田区東向島2-11-21  
TEL.03-3612-4129  
<交通>東武伊勢崎線「曳舟駅」より徒歩2分

NPO法人  
白神ネイチャー協会

白神ネイチャー協会の活動内容、入会申込等につまましては、下記までご連絡ください。

会員及びボランティア参加者募集

世界遺産に登録された白神山地周辺部でブナの森づくり活動を通して、白神山地世界自然遺産地域の保全を確実なものとし、また、ブナの森づくりを行うことによって、白神の森から良質で良好な水の供給を図り、地域のシンボルであるハタハタ等の魚類の産卵ふ化する藻場「海の森」の再生につなげます。

白神山地 植えようブナを、育てようあなたの心

白神ネイチャー協会事務局

■TEL:0185-70-4211 ■FAX:0185-70-4214  
■URL <http://www.shirakami.or.jp/~asna/index.html>

小物農機レンタル!

(レンタル機につきましては、1日以上とさせていただきます。)

機種	使用	料金	準備台数	機種	使用	料金	準備台数
背負動噴霧器	噴霧用	1日3,000円	2台	溝切機	乗用型	1日5,000円	2台
動力散布機	粉と粒	1日3,000円	2台	管理機	耕巾500mm	1日3,500円	3台
エンジンポンプ	φ25mm	1日2,000円	3台	高速洗浄機	小型4馬力	1日3,500円	1台
刈払機	背負・肩掛	1日3,500円	5台	発電機	100V交流12A	1日3,500円	1台
チェーンソー	中 型	1日3,500円	3台	ウイングモア	φ700mm	1日4,500円	1台
ハウス用オーガー	φ35mm	1日3,500円	1台				

ご来店をお待ち致しております。

農家のパートナー  
小物農機・販売サービス AV アシザキ NOUKI  
〒018-2504 山本郡八峰町峰浜石川字外林33-21 TEL・FAX 0185-76-2884

病院からもらった処方箋の事など、  
お薬のことなら専門の薬剤師が丁寧に説明をいたします。




LINUS PHARMACY  
ライナス薬局

TEL.0185-70-4160  
FAX.0185-70-4170 八峰町八森字古屋敷13-6

月～土/朝8:00～夜7:00  
休日/日・祝日





秋田の伝統色 飯ずし

# 鮓ずし

(マリネ、ハタかま、鮓ずし) 発送承ります!!

秋田・味めぐり一番所はちもり

## ⊕ (株)鈴木水産

☎ 0120-022170 FAX 0185-77-3601  
 URL <http://www.suzuki-suisan.co.jp/>  
 E-mail [suzuki@suzuki-suisan.co.jp](mailto:suzuki@suzuki-suisan.co.jp)

白神山地の天然湧水仕込だけで  
 酒造りを行なう全国で唯一の蔵元



# 白瀑

八峰町八森字八森269  
 TEL/0185-77-2311 FAX/0185-77-2312

ふるさとの味と香り、おいしさそのまま贈ります。



秋田名物  
 きりたんぽセット

地方発送承ります  
 10月上旬から2月下旬まで  
 発送いたします。

申し込みご予約は  
 TEL.0185-76-2529 FAX.0185-76-3156  
 〒018-2507  
 秋田県山本郡八峰町峰浜田中宇大土面 17 レストラン 峰

昔懐かし、ふるさとの味

# おやき



セキトの「おやき」は9月上旬から翌年3月下旬までの“季節商品”です。  
 八峰町へお戻りの際は、是非“焼き立て”をお召し上がりください。

味と心で ぐあいさつ  
**セキト** 株式会社 セキト  
 ●上町本店 〒016-0817 能代市上町12-2  
 www.sekito.net TEL.0185-54-3131  
 地方発送のご注文はこちらへ FAX.0185-54-2433

日本海を一望できる木・岩の露天風呂



美味しいお料理とあったかい温泉で  
 心と体を癒してください

ご宿泊  
 ・美しい景色を一人占め  
 ・特別な時間をゆったりと過ごす

# ハタハタ館

ホームページ：<http://www.hatahatakan.jp/>  
 秋田県山本郡八峰町八森字御所の台 51 番地  
 TEL：0185-77-2770(代)



地域と共に

## エルポート・シロキ

代表取締役 白木 博

八峰町中浜 TEL:0185-77-2323

FAX:0185-77-2324

E-mail : el-white@shirakami.or.jp

これからも地元産の食材にこだわり、  
喜ばれるものを作っていきます！！

## 米森農園

〒018-2504

八峰町峰浜石川字石川498

TEL & FAX : 0185-76-3434

MAIL : yonemori\_011@ybb.ne.jp



そばの花

子どもに夢を！ 誇れる郷土を！  
地域に活力を！

## 第27回雄島花火大会

8月15日打ち上げ(毎年)

雄島花火実行委員会

委員長 諸沢 秀紀



黒松林と日本海の風があなたのライバル

## 能代カントリークラブ

〒018-2507 八峰町峰浜田中字大土面18

TEL : 0185-76-3311 FAX : 0185-76-3009

さきがけ

## 魁 経営労務総合研究所

・J M E C・コンサルタント事業部

経営労務コンサルタント(全能連登録)

代表 松尾 長二郎

事務所 〒157-0077

(自宅) 東京都世田谷区鎌田 3-33-2-105

TEL/FAX : 03-3417-1860

産地形成促進施設

## 「おらほの館」

旬の野菜がどっさり  
地方発送も  
いたします。



「新鮮・旬・野菜と特産の石川そば処」

〒018-2509

秋田県山本郡八峰町峰浜沼田字沼田ホンコ谷地 147-6 **道の駅となり**

TEL・FAX 0185-76-4649

mail : orahonoyakata@shirakami.or.jp

白神の海と大地の夢を育む

## 白神八峰商工会

会長 大森 三四郎

TEL:0185-77-3161 FAX:3008

秋田県山本郡八峰町八森字中浜 41-3



“ あわびの里づくりまつり ”

平成25年8月上旬開催

☆参加して「My あわび」のオーナーになってみませんか！

心通い、笑顔のある、家庭的な環境！  
いつでもご見学、ご相談可能

## グループホーム いこい

八峰町峰浜田中字立花 13-1

TEL 0185-70-3151



秋田料理  
居酒屋 秋田おばこ

埼玉県川口市戸塚2-23-28  
TEL. 048-294-1856

スナックこまち

埼玉県川口市東川口1-15-18  
TEL. 048-298-2877

高沢すな (八峰町出身)

- 支え合おう東北 -  
えがおのあなたが見たいから...

皆川薬局



どちらの処方せんでもお受けします。

薬剤師 皆川鉄治・山脇一輝・山脇真理

八峰町峰浜沢目駅前 TEL.76-2052・FAX.76-2199

営業時間 7:00~20:00/休業日 日曜日・祝祭日

白神山地から湧き出る天然水と、地元農家の青大豆のみを使用



究極の美味 グリーン豆腐

従来の豆腐より栄養価が高く  
ほんのり緑色で甘味があり、こくが深く、  
美味です。

◇◇◇◇ 松岡食品 おかげさまで創業64年を迎えました ◇◇◇◇

〒018-2664 山本郡八峰町八森字古屋敷 43-3  
松岡 清悦・松岡 清也  
TEL 0185-77-2024 FAX 0185-77-3646  
E-mail: info@matsuoka-foods.com



◆◆◆ 和洋菓子舗 ◆◆◆



バターもち・バター団子

美味しいお菓子の店

高峰堂

八峰町峰浜埜字豊後長根145 TEL0120-89-2041

営業時間 7:00~20:00 年中無休

あふれる緑、大地と共に輝く未来



秋田やまもと農業協同組合

本 〒018-2104 秋田県山本郡三種町鹿渡字町後 270  
店 TEL:0185-87-4600(代) FAX:0185-87-4200  
代表理事組合長 米森 萬壽美



八峰支店 〒018-2503 秋田県山本郡八峰町峰浜埜字豊後長根 65-1 TEL:0185-76-3151(代) FAX:0185-76-3959



日本海の旬の魚  
家庭へ届けます

0185-77-2255



秋田県山本郡八峰町八森字横間156番地先

秋田県漁業協同組合  
北部総括支所



# 第4回八峰町関東ふるさと会総会・懇親会

平成24年11月18日(日)開催

受付：11時00分～  
 総会：12時00分～12時30分  
 懇親会：12時30分～15時30分  
 会場：アルカディア市ヶ谷  
 〒102-0073  
 東京都千代田区九段北4-2-25  
 03-3261-9921(代表)  
 懇親会費：6,000円  
 (学生は3,000円、小学生以下は無料)

地下鉄有楽町線・南北線 市ヶ谷駅 A1-1 出口  
 地下鉄新宿線 市ヶ谷駅 A1-1 または A4 出口  
 JR 中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅

上記各出口から徒歩約2分

駐車場は使用出来ませんので、JR / 地下鉄をご利用ください

友人・知人をお誘いの上お気軽にお越しください

## 特別ゲスト出演 YU-KOプロフィール

八峰町出身。

小さい頃から音楽に触れ、ピアノを弾いたり、歌う事が大好きで、自然と人前で歌う環境に。能代高校、秋田大学を経て、一度は地元で就職するが、流れるように進んで来た人生に疑問を抱き、2002年に上京。以前から、自分が辛いとき、楽しいとき、どんな時も支えてくれるレゲエが大好きだった。上京をきっかけに、様々なイベントに足を運び、更にレゲエに陶酔していく。

上京後、バンド、ソロ等、様々な形態で都内のライブハウス、ライブバーでの活動を開始する。

2006年、Bob Marley songs day決勝進出。代々木公園ステージで歌う。

2008年より、自ら作詞、作曲でオリジナル制作開始。それと比例するように、都内、横浜を中心に、ライブ活動も増えて行く。

オリジナルのテーマは、誰もが持っている、心の中にある、温かくて、優しく、誰かを思いやる気持ち、感謝の気持ち。そんな気持ちをレゲエのリズムに乗せて届ける。

2009年、更に自分を向上させたいという思いで、プラスタディミュージックスクールの門を叩く。

2011年9月25日自ら作詞作曲の1st Single『HOME』を、プラスタディエンターテイメントより発売。

現在は都内、横浜のレゲエイベントを中心に、更にライブでの活動の場を広げている。

ブログURL <http://ameblo.jp/youkstyle>



### 八峰町関東ふるさと会・役員一覧

会長：神馬 信一  
 副会長：麻木 固磨、伊東 チヤ、内山 由子、  
 北郷 洋子、信太 吉右エ門、田中 章、  
 戸田 真里、福田 稔、干場 革治  
 幹事長：成田 勘一  
 副幹事長：笠原 均、船越 鉄実  
 幹事：大久保 英子、大久保 澄子、黒浜 茂子、  
 坂田 二郎、佐々木 正人、佐々木 テル子、  
 白木 仁、芹田 忍、丹波 テツ子、  
 矢野 忠司、山内 哲夫  
 監査：菊地 弘美、鈴木 輝志郎  
 顧問：加賀谷 光丸、富岳 智猛、藤田 秀夫、  
 秋山 芳輝

■発行：八峰町関東ふるさと会  
 ■発行責任者：神馬 信一  
 ■編集委員：成田 勘一、北郷 洋子、丹波 テツ子、芹田 忍

八峰町関東ふるさと会事務局  
 〒184-0001 東京都小金井市関野町一丁目三三三  
 TEL/FAX 〇四二二三三三〇二七八  
 成田 勘一方

編集後記  
 今年のお盆の帰省は雄島の花火大会日まで滞在することができた。会場まで行きたかったが決断が遅れてしまい開始時刻となってしまった。実家の家族から役場付近から見るとのことで行って見たら実によく見えた。迫力の面では大会会場にはかなわないが、美しさは十分に堪能することができた。花火大会実行委員会の方々に多謝である。

事務局からのお知らせ  
 ふるさと会事務局では、幹事になっていただける方を募集しています。事務局までご一報いただければ幸いです。